



INDEX

1. はじめに	2	5. 記録	12
(1) Personal RPA 概要説明	2	(1) 基本操作	12
(2) 動作対応環境	2	(2) 準備	14
(3) アンチウィルスソフト・機能の 影響回避	2	(3) 手順	16
(4) 用語定義	3	(4) 補足事項	17
(5) データ 保存場所	3		
(6) 禁則事項（記録時・再生時）	3	6. 編集	19
2. インストール	4	(1) 繰り返し取込	19
3. 起動	6	(2) 繰り返し出力	21
4. 機能	8	(3) 繰り返し処理	23
(1) パネル操作	8	(4) 分割	25
(2) 操作パネル	9	(5) 結合	25
(3) 設定パネル	10	(6) 移動	25
(4) 編集パネル	11	(7) 改行削除	26
		(8) 手動入力	26
		(9) ディレイ時間	26
		7. 再生	27
		(1) 準備	27
		(2) 手順	28

1 はじめに

(1) Personal RPA 概要説明

Personal RPA は、業務の効率化を実現するための RPA ツールです。PC における業務内容を記録し、設定や編集を施すことで、繰り返し自動実行することができます。

※RPA とは、Robotic Process Automation の略で、「ロボットによって業務プロセスの自動化」するテクノロジーのことを言います。

(2) 動作対応環境

項目	対応機種
OS	Windows10(64bit/32bit) ※Windows8.1 (64bit/32bit) は動作確認済
アプリケーション	Excel 2019 ※Excel 2016 は動作確認済 ※Excel の標準設定を施すことにより、その他の一部バージョンにおいても動作可能
ブラウザ	Internet Explorer 11
モニタ解像度	1920×1200 (推奨)

※このアプリケーションを利用するには .NET Framework4.6.1 以上をインストールまたは有効化する必要があります。

※また、Microsoft Visual C++ 2017 再頒布可能パッケージ (VC++ 14.1 以上) が必要です。

詳しくは、Microsoft の下記サポートページをご確認ください。

<https://support.microsoft.com/ja-jp/help/2977003/the-latest-supported-visual-c-downloads>

(3) アンチウィルスソフト・機能の影響回避

①PC の設定

ブラウザ (IE11) において windows defender 機能をオフにしてください。



②アンチウィルスソフト

ソフトの影響で、エラーや誤動作が発生することがあります。

各ソフトにて検疫を解除するか、インストールや記録・再生時にはソフトを一時的に停止してください。

検疫解除の手順や一時停止の方法については、各ソフトのマニュアルをご確認ください。

(4) 用語定義

名称	内容定義
ストーリー	1 記録全体
シーン	1 ウィンドウへの操作記録全体
カット	1 ウィンドウへの操作単体の編集単位（シーンを分割した単位）
ステップ	1 ウィンドウへの操作単位
再生ログ	ストーリーを再生した履歴

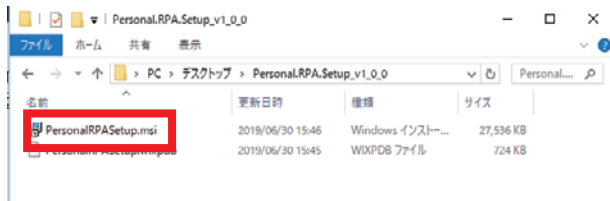
(5) データ 保存場所

- ・ストーリー：ドキュメントフォルダー> Personal RPA フォルダー> ストーリーフォルダー
- ・再生ログ：ドキュメントフォルダー> Personal RPA フォルダー> 再生ログフォルダー

(6) 禁則事項（記録時・再生時）

- ・操作対象のアプリケーション以外は閉じてください。
 - ※Skype など、機能が競合して動作に影響があります。
 - ※再生時、不要なアプリケーションも検索してしまい、動作が遅くなります。
- ・操作対象のアプリケーションが重ならないように PC の画面上に配置してください。
- ・ディスプレイ等の画面拡張をしないでください。

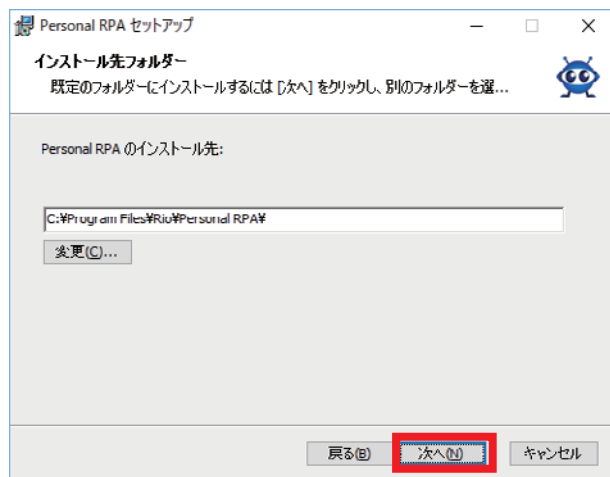
2 インストール



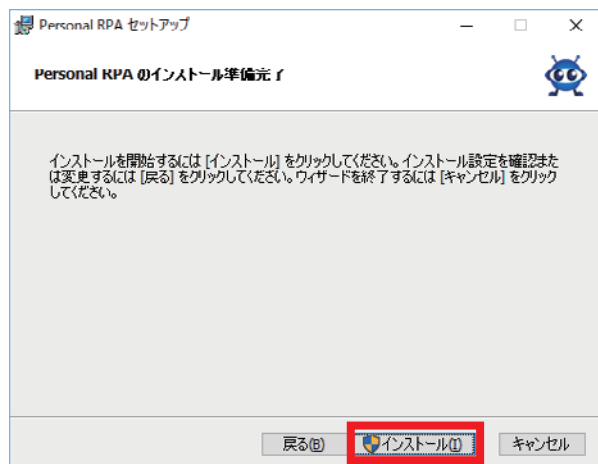
① インストーラをダブルクリックで起動してください。



② セットアップウィザードで、「次へ」をクリックしてください。



③ インストール先フォルダを指定して、「次へ」をクリックしてください。
(デフォルトは C ドライブ Program File)



④ 準備完了しましたので、「インストール」をクリックしてください。
※この不明な発行元からのアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか？が表示された場合は「はい」をクリックしてください。



- ⑤ インストール完了画面が表示されたら、「完了」を選択してください。
以上でインストール完了です。

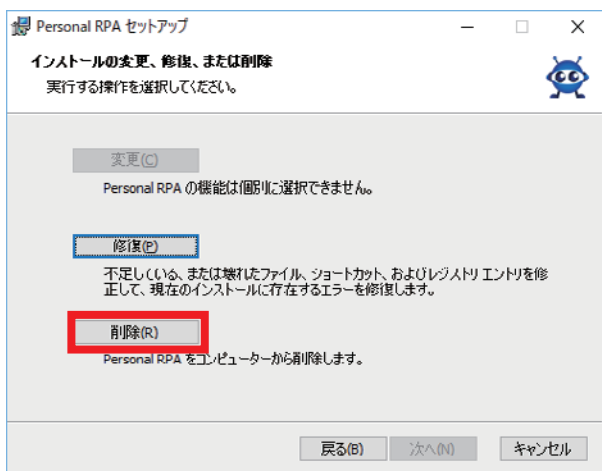
※アンインストール方法



- ① インストーラをダブルクリックで起動してください。



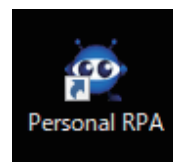
- ② セットアップウィザードで、「次へ」をクリックしてください。



- ③ 「削除」を選択してください。
この不明な発行元からのアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか？
が表示された場合は「はい」をクリックしてください。

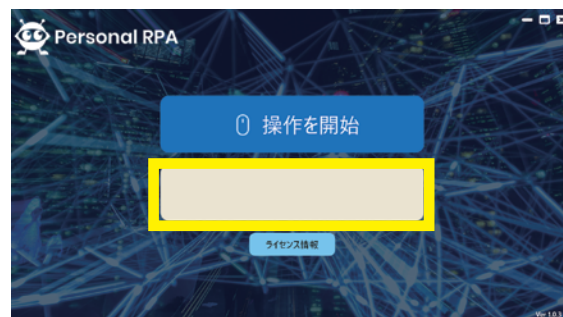
3 起動

①デスクトップ上のアイコンをダブルクリックしてください。

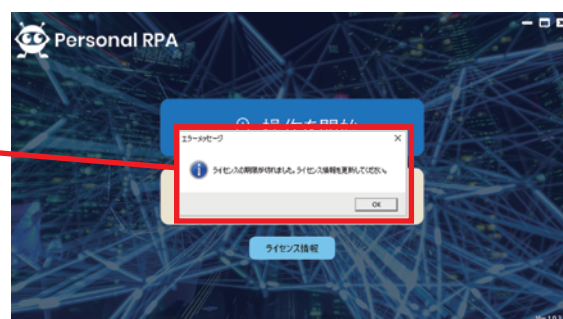
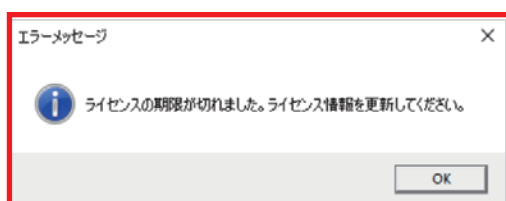
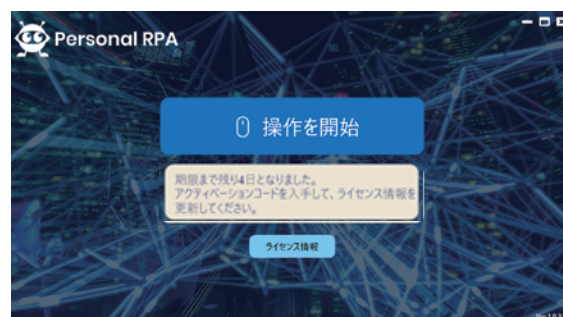


②開始するにあたり、問題がある場合は状況により下部黄色の枠に、以下 2 点が表示されます。

■ 前回の記録において、デスクトップショートカットで起動したアプリケーションが PC 内に存在しない場合にコメントが表示されます。



■ 利用期限が残り 10 日以内になると、下記のようなメッセージが表示されます。期限が切れた場合はアラートダイアログが表示されます。



- ③ライセンス情報の入力が必要な場合、「ライセンス情報」ボタンをクリックしてください。
アクティベーションコードを入力して「確認」ボタンをクリックして
アクティベーションした上で、「更新」ボタンをクリックください。

※アクティベーションコードの取得は、
下記までご連絡をお願いします。

＜更新依頼および問い合わせ先＞

- ・株式会社リオ
rpa@riocompany.jp

登録情報	
アクティベートコード	
発行元	株式会社リオ
アクティベートタイプ	
プロジェクトID	01E1-4241-3107-7B01-0D71-C377-E758-1CCA
アクティベート期間	90 日間
有効期限日	2019/10/28
更新依頼及び問い合わせ先	株式会社リオ 03-3526-5710 rpa@riocompany.jp

更新情報	
新アクティベートコード	<input type="text"/>
発行元	
アクティベートタイプ	
アクティベート期間	日間

Buttons: 確認 (Confirm), 更新 (Update)



- ④トップ画面が表示されたら「操作を開始」をクリックしてください。



- ⑤操作パネルが表示されます。



(1) パネル操作

- ①「編集」ボタンをクリックすると、操作パネル下部に詳細画面が開きます。
(記録する前は何も存在しません)



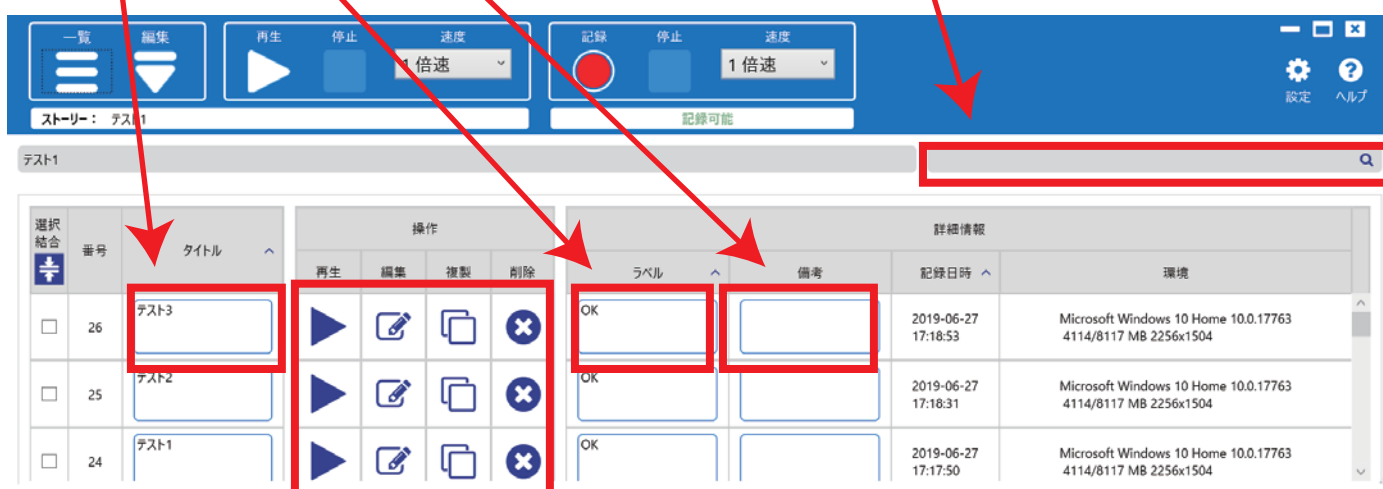
- ②「一覧」ボタンを押すと、ストーリー一覧画面が表示されます。



- ③再生・編集したいストーリーをクリックすると、背景色が変わり、選択状態になります。

- ④タイトル・ラベル・備考には、文字を入力することができます。

- ⑤キーワードでの検索が可能です。



- ⑥操作アイコンは、左から、「再生」「編集」「複製」「削除」です。
「編集」ボタンをクリックすると、編集画面に切り替わります。

(2) 操作パネル



	名称	詳細
①	一覧	ストーリー一覧を表示するボタン
②	編集	編集画面の表示 / 非表示 切替ボタン
③	再生	再生、もしくはステップ再生を開始するボタン
④	停止	再生を途中で停止するボタン
⑤	速度	再生速度を変更できるプルダウン (0.5 倍、1.0 倍、2.0 倍、ステップ) ※
⑥	記録	記録を開始するボタン
⑦	停止	記録や再生を停止するボタン
⑧	速度	記録速度を変更できるプルダウン (0.5 倍、1.0 倍、2.0 倍、ステップ) ※
⑨	ストーリータイトル	現在選択されているストーリータイトルを表示する欄
⑩	記録可否	記録しているアプリケーションの対応可否を表示する欄
⑪	設定	設定機能パネルを開くボタン (次ページ参照)
⑫	ヘルプ	ヘルプパネルを開くボタン (次ページ参照)

※0.5 倍速、1.0 倍速、2.0 倍速 の記述はあくまで速度のイメージです。実際に X 倍になるわけではありません。
また、処理対象のアプリによっては、速度が速すぎると対応できず、エラーがおきることがあります。

(3) 設定パネル

再生設定

- ① デレイ時間 10 秒
- ② 再生ログ画面キャプチャ取得機能 ☒
- ③ 再生ログ全削除機能 [全て削除](#)
- ④ 座標動作モード ☐

記録設定

- ⑤ 末尾改行コード自動削除機能 ☐
- ⑥ 連続コピー&ペースト機能 ☐
- ⑦ ダブルクリックコピー機能 ☐
- ⑧ マウス移動を記録 ☐

⑪ Excel 準備設定

対象Excel指定 [参照](#)

処理セル範囲指定 A1:Z256

準備設定の実行 [実行](#)

ヘルプ

- ⑨ [サポート](#)
- ⑩ [マニュアル](#)

製品情報

製品名: Personal RPA
バージョン: 1.0.3

⑪ Excel 2016 を使用したストーリーを作成する際に、記録 / 再生ができるように Excel を設定する機能

- ① 再生時に対象アプリの切替時間を加味した時間設定ができる機能
- ② 再生ログの取得有無を選択する機能
- ③ 再生ログを全て一括削除する機能
- ④ 座標で動作させることができる機能
- ⑤ 記録において、値をコピーする際に末尾改行コードを削除する機能
- ⑥ Excel(1) から Excel(2) に、複数セルの値をコピーする際に、(1) から連続してコピーし、(2) に連続してペーストする機能
- ⑦ ブラウザ上で、項目をダブルクリックをすると、その左側の値をコピーする機能
- ⑧ マウスを移動した記録を保持する機能
- ⑨ サポートページにリンク
- ⑩ マニュアルページ (PDF) にリンク

(4) 編集パネル

ストーリー一覧画面において「編集」ボタンをクリックすると編集画面に切り替わります。

The screenshot shows the editing interface with the following components labeled:

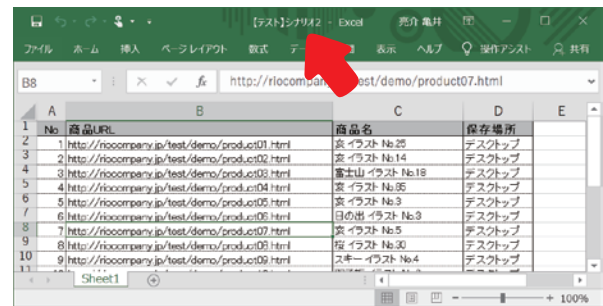
- ストーリー情報**: Story information (top left)
- シーン情報**: Scene information (top center)
- プロパティ / 削除**: Property / Delete (top right)
- 設定表示**: Setting display (top right)
- 編集メニュー**: Edit menu (top right)
- 全体ツリー**: Overall tree (left sidebar)
- カットの画面キャプチャ**: Screenshot of the cut screen (bottom left)
- ステップ番号 ※繰り返し処理で利用**: Step number ※Used for loop processing (bottom left)
- ステップのコピー / 削除**: Copy / Delete of steps (bottom center)
- ステップ ※ドラックで移動可能**: Step ※Moveable by drag (bottom center)
- ステップの詳細情報**: Detailed information of the step (bottom right)
- 設定内容**: Setting content (bottom right)
- 編集プロパティ**: Edit property (bottom right)

The interface includes a top toolbar with buttons for '一覧' (Overview), '編集' (Edit), '再生' (Play), '停止' (Stop), '速度' (Speed), '記録' (Record), and '停止' (Stop). Below the toolbar is a table with columns for '選択' (Select), '番号' (Number), 'タイトル' (Title), '操作' (Operation), and '詳細情報' (Detailed Information). The '操作' column contains buttons for '再生' (Play), '編集' (Edit), '複製' (Copy), and '削除' (Delete). The '詳細情報' column contains fields for 'ラベル' (Label), '備考' (Remarks), '記録日時' (Recording Date/Time), and '環境' (Environment).

(1) 基本操作

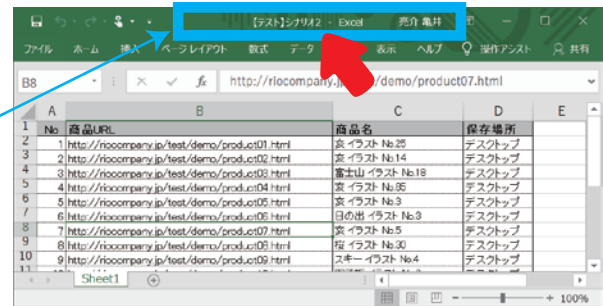
- ① 記録対象アプリケーションの上部タイトルバーにマウスポインタを重ねて、そのままの状態を保ちます。
(1 ～ 2 秒)

※ブラウザの場合は不要



- ② ルーラーが現れ、点減します。

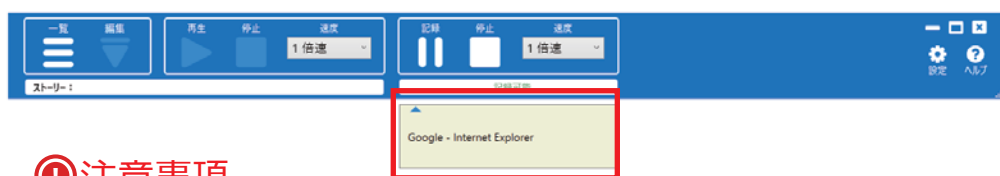
ルーラー



※ルーラーとは

Excel やブラウザなどのアプリを RPA ツールが認識したことを示すものです。
(Excel のセルやブラウザのボタン等も含みます)
認識した部分に表示される色がついた四角い枠です。点減しています。

- ③ その後すぐに、操作パネルの下部にも、黄色いポップアップが表示され、認識した情報を表示します。



① 注意事項

ルーラーが表示されてから、ポップアップが表示されるまで、3 秒程度かかることがあります。それまでマウスカーソルは動かさないでください。

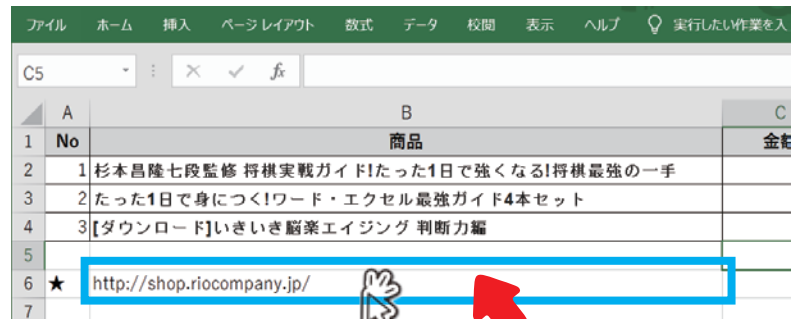
※記録確認補助機能

同時に、「ピッ」という音もなります。
音を出して記録できる環境であれば、それを確認することで記録精度が上がります。

- ④ 左クリックをして、操作したいアプリを確定させます。

⑤ 次に、記録したい箇所の場所（セル等）に同様の操作をします。

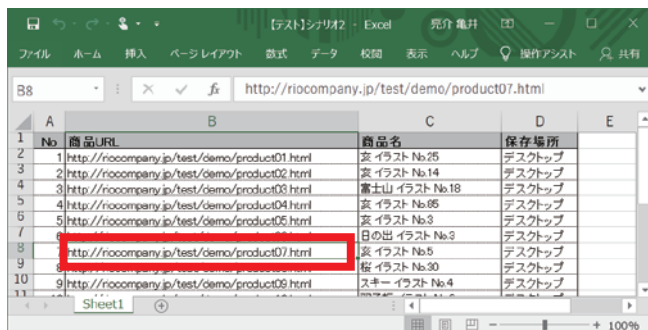
※例：Excel



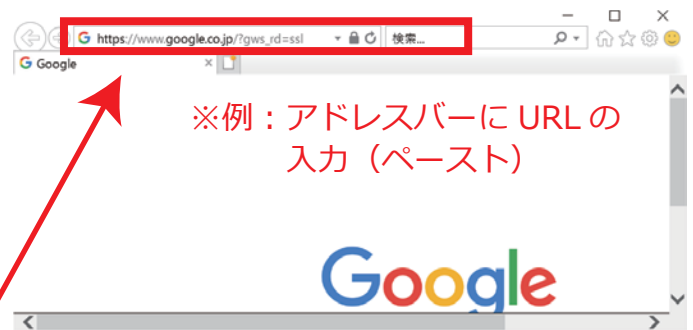
1. マウスオーバーする
2. ルーラーが点滅
3. ピッという音が鳴る
4. 黄色いポップアップ表示
5. 左クリック！！

⑥ 確定させた場所に対して、動作（ステップ）をします。

具体的には、Excel であれば、ショートカットキーで値のコピーや貼り付け、ブラウザであれば、コマンドボタンのクリック、各種ボックスへのテキスト入力等。



※例：Ctrl+C にて値のコピー



※例：アドレスバーに URL の
入力（ペースト）

※ブラウザに URL を正しく貼り付けるためのポイント

アドレスバーにある元の URL は、「全て選択の上、削除」してから、貼り付けてください。

- ① 選択した場所を認識してから、アドレスバーをクリック
- ② Ctrl + A キークリック：元の URL を全て選択
- ③ Delete キークリック：削除
- ④ Ctrl + V キークリック：コピーした URL を貼り付け

⑦ 操作対象の画面がディスプレイ上にあり、記録・再生する部分がウィンドウ内に見えるように配置してください。

(2) 準備

- ① 設定画面の記録設定にて、各種設定をします。

【1】 末尾改行コード自動削除機能

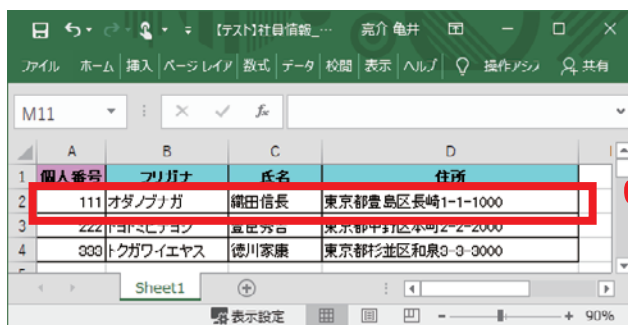
記録において、値をコピーする際に
末尾改行コードを削除する機能

【2】 連続コピー & ペースト機能

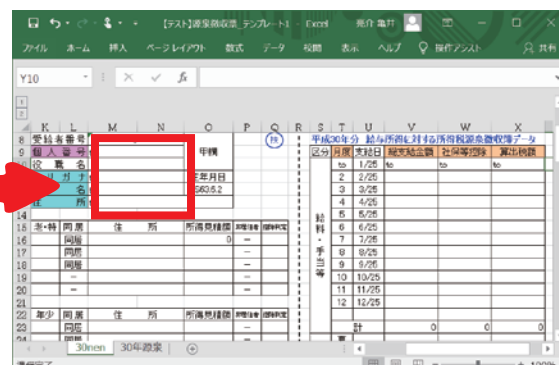
Excel(1) から Excel(2) に、複数セルの値をコピー & ペーストする際に、
(1) から連続してコピーし、(2) に連続してペーストする機能

※複数の Excel を何度も往復してコピーをすることを回避できます。

- (1) セルを、A2⇒B2⇒C2⇒D2、と順番に
コピーをする (Ctrl+C)



- (2) コピーした情報を順番に
ペーストできる



【3】 ダブルクリックコピー

ブラウザ上で、某項目をダブル
クリックをするとその右側の
値をコピーする機能

※HTML のみ対応可能な機能です。

※例：「販売価格」を選択し、ダブルクリックをすると
その右側にある値がコピーされる。



【4】 マウス移動を記録

マウスを移動した記録を保持する機能



② 貼り付け先の Excel 事前設定

記録したいアプリケーションが Excel 2016 の 1 部の場合、貼り付け先の空白のセルを認識するために、あらかじめ処理を施す必要があります。

- 1) 設定メニューの Excel 事前準備より対象 Excel 指定をします。
(参照ボタンをクリックして選択してください)
- 2) 処理セル範囲指定をしてください。
(デフォルト値 : A ~ Z 列の 1 ~ 256 行)
- 3) セル認識準備実行「実行」ボタンをクリックしてください。

上記設定により、貼り付け先 Excel の指定範囲にある「空白セル」にスペースを埋め込みます。そうすることによって、RPA ツールで、貼り付け先のセルを認識できるようになります。

設定

再生設定

ディレイ時間 10 秒

再生ログ画面キャプチャ取得機能 入

再生ログ全削除機能 全て削除

座標動作モード 切

記録設定

末尾改行コード自動削除機能 切

連続コピー-&ペースト機能 切

ダブルクリックコピー機能 切

マウス移動を記録 切

Tクセル 準備設定

対象Excel指定 参照

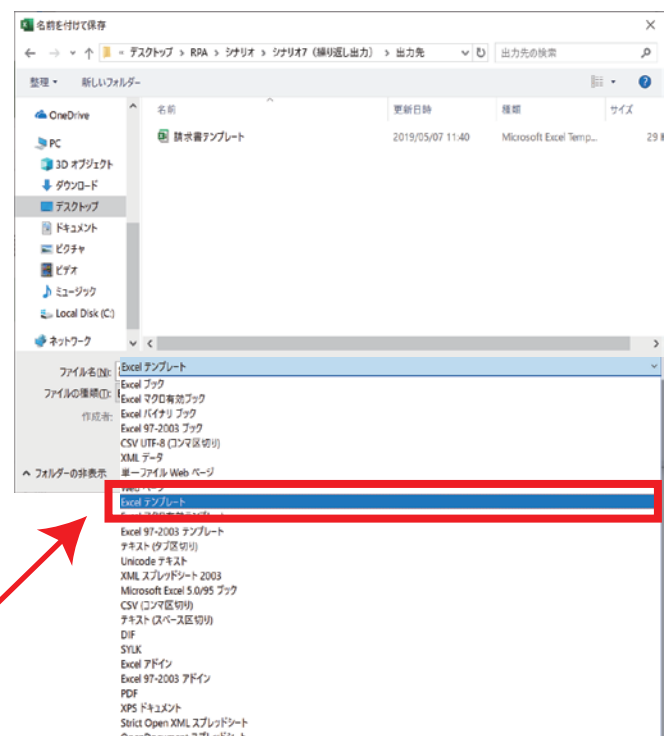
処理セル範囲指定 A1:Z256

準備設定の実行 実行

※実行から完了まで 1 分程度かかりますので、そのままお待ちください。

③ テンプレート形式で保存

「繰り返し出力機能」を用いる場合、テンプレートが必要になります。出力するフォルダにテンプレート形式にて配置しておいてください。



※前を付けて保存する際にファイルの種類を Excel テンプレートにする。

(3) 手順

①記録の開始 : 記録ボタンをクリックします。



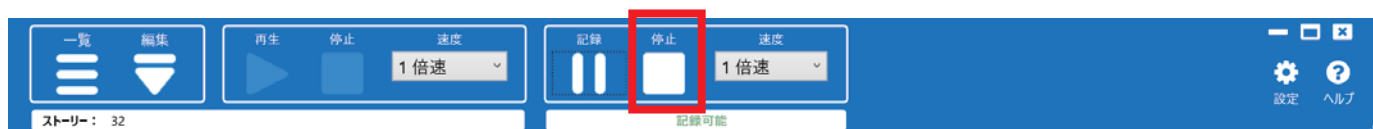
※アプリのアイコンやショートカットをダブルクリックをして
起動するところから記録することもできます。



※例 : IE

②記録 : 基本操作に従って、記録をします。

③記録の停止 : 停止ボタンをクリックします。



(4) 補足事項

① 位置認識の対象

位置を認識できるアプリ・ブラウザは以下の通りです。

位置認識対象	アプリ ブラウザ
ツールバーにある各種コマンドボタン	Excel
セル	Excel
検索ボックス（文字入力可能）	IE11
ボタン（リンク）	IE11
ウィンドウ全体（ブラウザ検索後の画面等）	

※Excel2016の一部については
記録前に事前準備が必要です。

② 記録できる操作

操作対象ごとの記録可能な操作と編集画面での表記は下記です。

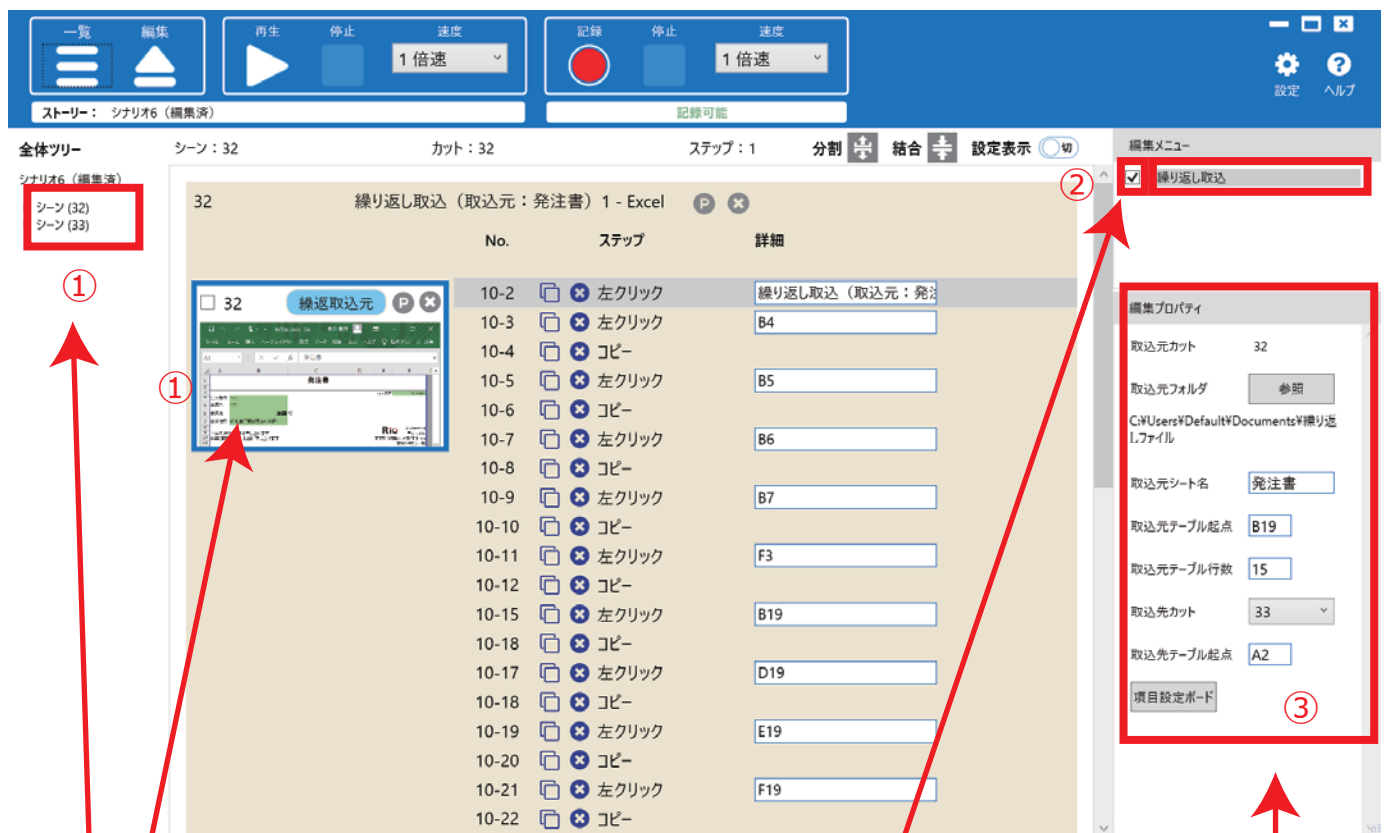
No	操作対象	操作（標記）	詳細標記
1	全般	ダブルクリック	アイコン名
2		コピー	-
3		貼り付け	-
4		テキスト入力	-
5	Excel	左クリック	ウィンドウ選択
6		左クリック	各種コマンド選択
7		左クリック	セル
8		コピー	-
9		貼り付け	-
10	ブラウザ	左クリック	ウィンドウ選択
11		左クリック	アドレスバー
12		左クリック	（タブ名）
13		左クリック	（ボタン名）
14		左クリック	（ファイル名）
15	保存ダイアログ	左クリック	名前を付けて保存
16		左クリック	ウィンドウの選択
17		左クリック	タイトルバー
18		左クリック	保存
19		左クリック	キャンセル
20	ダブルクリックコピー	ダブルクリックコピー	-

③ショートカットキー

操作パネルを使用せずに、ショートカットキーでも操作できます。

カテゴリ	機能名	ショートカット (Ctrl + Alt + ●)
記録	開始	r
	停止	o
	一時停止	i
再生	開始	p
	停止	o
	一時停止	i
	ステップ再生 (次へ)	n
編集	一覧表示	d
	分割	x
	統合	j
設定	シーンプロパティ	s
	カットプロパティ	c
	改行コード削除	k
	ヘルプ	h
表示	画面切替	d
	全体	l

(1) 繰り返し取込



① 編集したいシーンを選択します

② 繰り返し取込の文字の上を選択してから、チェックボックスにチェックを入れます。

③ 編集プロパティで詳細を設定します。（詳細は次ページ）

①取込元フォルダ

取り込みたいシートが入っているフォルダを指定します。

②取込元シート名

取り込みたいシートのシート名を入力します。

③取込元テーブル起点

取込元の範囲指定の起点として範囲の左上のセル情報を入力します。

④取込元テーブル行数

取込元の範囲指定の終点として取得したい最大の行数を入力します。

⑤取込先カット

取込先として記録したカット（シーン）を指定します。

⑥取込先テーブル起点

取込先の貼り付け位置の起点として、範囲の左上のセル情報を入力します。

⑦項目設定ボード

ボタンをクリックして開きます。

⑧取込元

セルの記録が正しいか確認します。

⑨取込先

セルを選択するか、自動設定してください。

⑩有効

使用しない項目のチェックを外します。

⑪キー

固定となる項目にチェックをします。

⑫自動設定ボタン

⑨の取込先を自動的に設定します。

⑬設定ボタン

押してポップアップ画面を閉じます。
(キャンセルはキャンセルボタン)

編集プロパティ

取込元カット 1523

① 取込元フォルダ 参照
C:\Users\Default\Documents\繰り返しファイル

② 取込元シート名 発注書

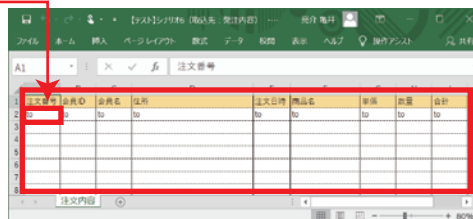
③ 取込元テーブル起点 B19

④ 取込元テーブル行数 15

⑤ 取込先カット 1524

⑥ 取込先テーブル起点 A2

⑦ 項目設定ボード



取込元・取込先 設定ボード

番号	取込元	取込先	有効	キー
2	B4	A2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
3	B5	B2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
4	B6	C2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
5	B7	D2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
6	F3	E2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
7	B19	F2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	D19	G2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9	E19	H2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10	F19	I2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

⑫ 自動設定 ⑬ 設定 キャンセル

※繰り返し処理の終了要件は、表組の罫線がなくなること
もしくは「end」という文字になります。

(2) 繰り返し出力

The screenshot shows the software interface for editing a scenario. The top toolbar contains buttons for '一覧' (List), '編集' (Edit), '再生' (Play), '停止' (Stop), '速度' (Speed), '記録' (Record), and 'ヘルプ' (Help). The left sidebar shows the '全体ツリー' (Overall Tree) with 'シナリオ7 (編集済)' (Scenario 7 (Edited)) selected. The main workspace displays a table of steps for '【テスト】シナリオ7 (出力元: 受注内容) - Excel'. The table has columns for 'No.', 'ステップ' (Step), and '詳細' (Details). The steps are numbered 13-1 to 13-19, with actions like '左クリック' (Left Click) and 'コピー' (Copy). The right sidebar shows the '編集プロパティ' (Edit Properties) panel, which includes settings for '出力元カット' (Output Source Cut), '出力元テーブル起点' (Output Source Table Start), '処理単位キー' (Processing Unit Key), '出力先カット' (Output Destination Cut), '出力先フォルダ' (Output Destination Folder), '出力ファイル名' (Output File Name), 'テンプレートシート名' (Template Sheet Name), and '出力モード' (Output Mode). The '繰り返し出力' (Repeat Output) checkbox is checked in the top right corner.

No.	ステップ	詳細
13-1	左クリック	【テスト】シナリオ7 (出力元:
13-2	左クリック	A2
13-3	コピー	
13-4	左クリック	B2
13-5	コピー	
13-6	左クリック	C2
13-7	コピー	
13-8	左クリック	D2
13-9	コピー	
13-10	左クリック	E2
13-11	コピー	
13-12	左クリック	F2
13-13	コピー	
13-14	左クリック	G2
13-15	コピー	
13-16	左クリック	H2
13-17	コピー	
13-18	左クリック	I2
13-19	コピー	

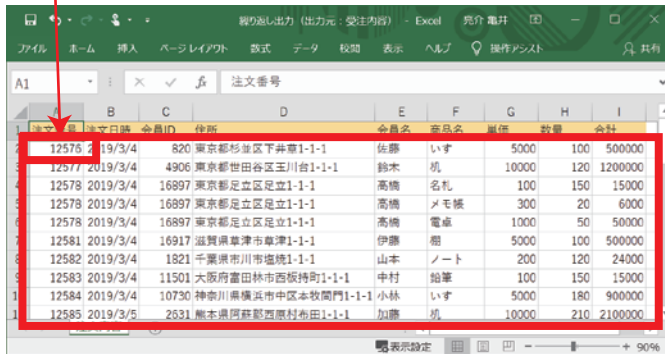
① 編集したいシーンを選択します

② 繰り返し出力の文字の上を選択してから、チェックボックスにチェックを入れます。

③ 編集プロパティで詳細を設定します。(詳細は次ページ)

①出力元テーブル起点

出力元の範囲指定の起点として範囲の左上セル
情報を入力します。



注文番号	注文日	会員ID	住所	会員名	商品名	単価	数量	合計
12575	2019/3/4	820	東京都杉並区下井草1-1-1	佐藤 いず	5000	100	500000	
12577	2019/3/4	4906	東京都世田谷区玉川台1-1-1	鈴木 机	10000	120	1200000	
12578	2019/3/4	16897	東京都足立区足立1-1-1	高橋 名札	100	150	15000	
12578	2019/3/4	16897	東京都足立区足立1-1-1	高橋 メモ帳	300	20	6000	
12578	2019/3/4	16897	東京都足立区足立1-1-1	高橋 電卓	1000	50	50000	
12581	2019/3/4	16917	滋賀県草津市草津1-1-1	伊藤 棚	5000	100	500000	
12582	2019/3/4	1921	千葉県市川市徳院1-1-1	山本 ノート	200	120	24000	
12583	2019/3/4	11501	大阪府豊田林市西板持町1-1-1	中村 鉛筆	100	150	15000	
12584	2019/3/4	10730	神奈川県横浜市中央区本牧関門1-1-1	小林 いす	5000	180	900000	
12585	2019/3/5	2631	熊本県阿蘇郡西原村布田1-1-1	加藤 机	10000	210	2100000	

②処理単位キー

ここで選択したセルを先頭とした列の値ごとに
帳票を出力します。

③出力先カット

出力先として記録したカット（シーン）を指定します。

④出力先フォルダ

出力ファイルを保存する先のフォルダを指定します。

⑤出力先ファイル名 頭文字

出力するファイルのファイル名の頭文字を指定します。

⑥テンプレートシート名

出力フォーマットのシート名を入力します。

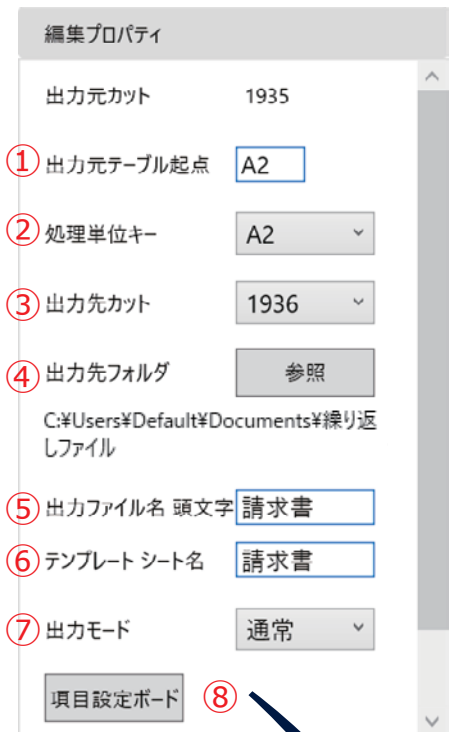
⑦出力モード

出力したファイルの保存形式について、通常もしくは上書きを選択します。

- ・通常：出力ファイル名に日付情報あり
- ・上書き：出力ファイル名に日付情報なし

⑧項目設定ボード

ボタンをクリックして開きます。



編集プロパティ

出力元カット 1935

① 出力元テーブル起点 A2

② 処理単位キー A2

③ 出力先カット 1936

④ 出力先フォルダ 参照

C:\Users\Default\Documents\繰り返しファイル

⑤ 出力ファイル名 頭文字 請求書

⑥ テンプレート シート名 請求書

⑦ 出力モード 通常

項目設定ボード ⑧

⑨出力元

セルの記録が正しいか確認します。

⑩出力先

セルを選択するか、自動設定してください。

⑪有効

使用しない項目のチェックを外します。

⑫キー


固定となる項目にチェックをします。

⑬自動設定ボタン

⑩の出力先を自動的に設定します。

⑭設定ボタン

押してポップアップ画面を閉じます。
(キャンセルはキャンセルボタン)



出力元・出力先 設定ボード

番号	出力元	出力先	有効	キー
11	A2	F2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
12	B2	F3	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
13	C2	B5	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
14	D2	B6	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
15	E2	B7	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
16	F2	B19	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
17	G2	D19	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
18	H2	E19	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
19	I2	F19	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

自動設定 設定 キャンセル

⑬ ⑭

※繰り返し処理の終了要件は、表組の罫線がなくなることもしくは「end」という文字になります。

(3) 繰り返し処理

The screenshot shows the software interface for setting up repeat processing. The top toolbar includes buttons for '一覧' (List), '編集' (Edit), '再生' (Play), '停止' (Stop), and '速度' (Speed) set to '1倍速' (1x). The left sidebar shows a scene tree with 'シーン (15-1)' selected. The main workspace displays a table of steps for '15-1' and '15-2'. The right sidebar shows the '編集プロパティ' (Edit Properties) panel with the '繰り返し処理' (Repeat Processing) checkbox checked. The '繰り返し処理' section in the panel includes fields for '処理元カット' (Source Cut) set to 38, '処理元テーブル起点' (Source Table Start) set to A2, '処理折返しカット' (Repeat Cut) set to 15-3, and 'コピー先' (Copy To) set to C2.

No.	ステップ	詳細
15-1	左クリック	【テスト】シナリオ1 - Excel
15-2	左クリック	B2
15-3	コピー	
15-4	左クリック	C2

No.	ステップ	詳細
15-7	左クリック	アドレスと Bing を使った検索
15-8	全て選択 貼り付け	

No.	ステップ	詳細
15-9	ダブルクリック	販売価格:

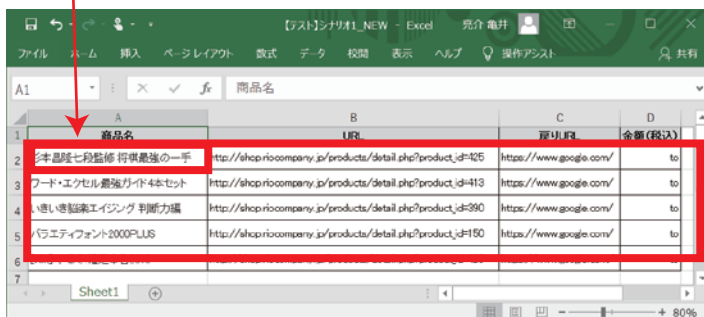
① 編集したいシーンを選択します。

② 繰り返し処理の文字の上を選択してから、チェックボックスにチェックを入れます。

③ 編集プロパティで詳細を設定します。（詳細は次ページ）

①処理元テーブル起点

出力元の範囲指定の起点として、範囲の左上のセル情報を入力します。



②処理折返しカット

処理を折り返すカットを選択します。

③コピー先

記録の中で取得した値をどこかに、貼り付ける場合
ここで貼り付け先を 指定します。

④項目設定ボード

ボタンをクリックして開きます。

編集プロパティ

処理元カット 2106

① 処理元テーブル起点 A2

② 処理折返しカット 2108

③ コピー先 D2

④ 項目設定ボード

⑤処理元

セルの記録が正しいか確認します。

⑥処理先

処理先の※ステップ番号を選択するか
自動設定してください。

⑦有効

使用しない項目のチェックを外します。

⑧自動設定ボタン

⑥の処理先を自動的に設定します。

⑨設定ボタン

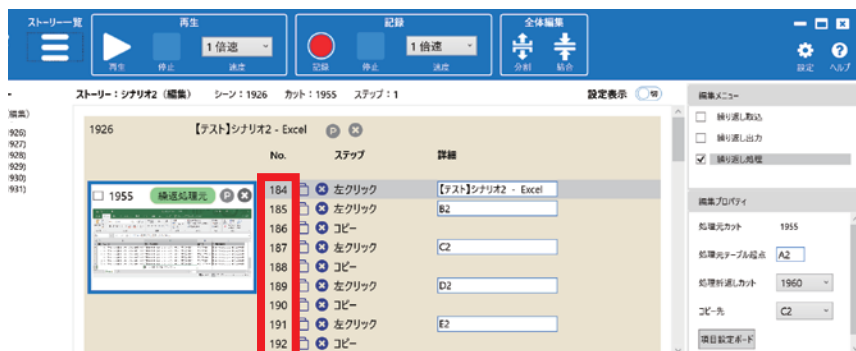
ボタンを押してポップアップ画面を閉じます。
(キャンセルはキャンセルボタン)

処理元・処理先 設定ボード

番号	処理元	処理先	有効
7	B2	39	<input checked="" type="checkbox"/>
8	C2	42	<input checked="" type="checkbox"/>
9	D2		<input type="checkbox"/>

自動設定 設定 キャンセル

※繰り返し処理の終了要件は、表組の罫線がなくなること
もしくは「end」という文字になります。



※ステップ番号

(4) 分割

- ①分割したいステップ（後）を選択します。
- ②分割ボタンをクリックします。

(5) 結合

- ①結合したい複数のシーンの左上のチェックボックスにチェックを入れます。
- ②結合ボタンをクリック ⇒2 つのカットを結合し、1 つのカットになります。

(6) 移動

ステップをドラックすることで移動できます。

(6) 移動 (4) 分割 (5) 結合

結合用チェックボックス

The screenshot shows the software interface with the following elements:

- Top Bar:** Includes a menu icon, a '編集' (Edit) button, playback controls (再生, 停止, 速度: 1倍速), recording controls (記録, 停止, 速度: 1倍速), and settings/help icons (設定, ヘルプ).
- Left Panel:** Shows a '全体ツリー' (Overall Tree) with 'シナリオ1' (Scenario 1) and its scenes (シーン (15-1), シーン (15-2), シーン (15-3)).
- Main Area:** Displays a table of steps for '【テスト】シナリオ1 - Excel'.
- Right Panel:** Shows '編集メニュー' (Edit Menu) with options like '繰り返し処理' (Repeat Processing) and '編集プロパティ' (Edit Properties) with fields for '処理元カット' (Source Cut), '処理元テーブル起点' (Source Table Start Point), '処理折返しカット' (Repeat Cut), 'コピー先' (Copy To), and '項目設定ボード' (Item Setting Board).

Table of Steps:

No.	ステップ	詳細
15-1	左クリック	【テスト】シナリオ1 - Excel
15-2	左クリック	B2
15-3	コピー	
15-4	左クリック	C2

Red boxes and arrows in the image point to the '15-' checkbox in the table, the '分割' (Split) button, and the '結合' (Combine) button.

(7) 改行削除

記録において、値をコピーする際に末尾改行コードを削除する機能です。

(8) 手動入力

再生時のキーボード入力（カット単位で指定ができる）において一旦停止し、手動で文字入力をするすると再生が進む機能です。

（ID/PASS によるアクセス制限への対応）

(9) デイレイ時間

再生時に対象アプリの切替時間を加味した時間設定ができる機能です。

※それぞれ、ステップ単位で設定が可能です。

「詳細設定」ボタン

表示 / 非表示を切り替えることができます。



7 再生

(1) 準備

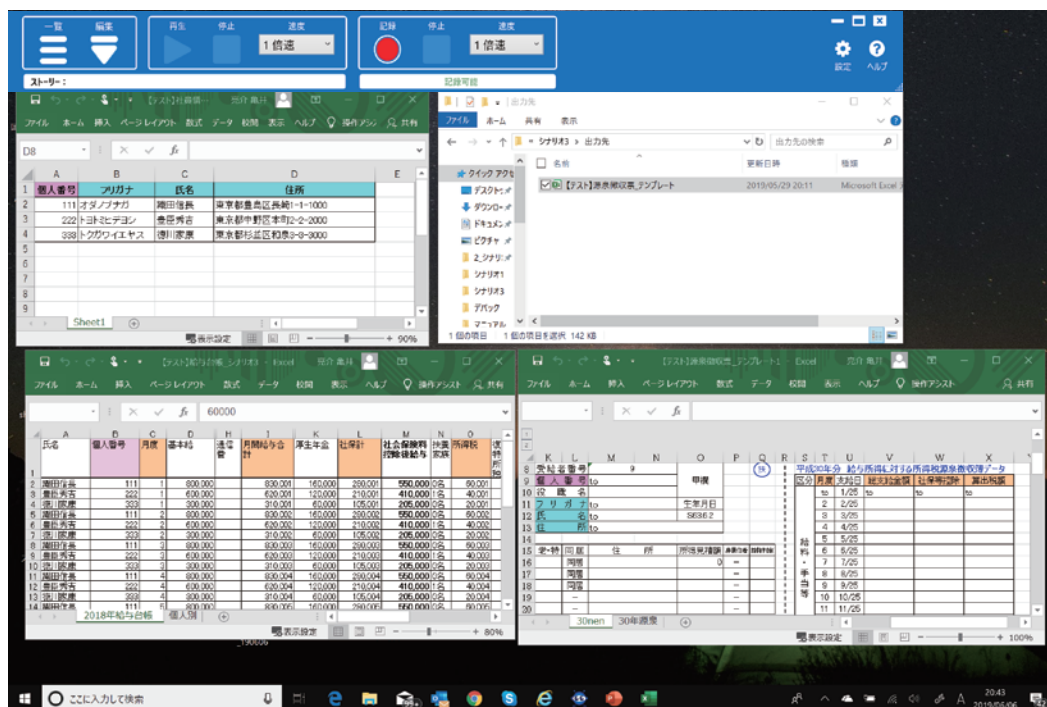
① 配置

再生するアプリやブラウザを全て開いておきます。

② 注意事項

※繰り返し設定における、テンプレートやデータを取り込む（コピー）元のファイルは閉じてください。

※再生するアプリのウィンドウが重ならないようにしてください。



② 設定

必要な再生設定をします。

【1】ディレイ時間

再生時に対象アプリの切替時間を加味した時間設定ができる機能

【2】再生ログ画面キャプチャー取得機能

再生ログにおいて、スクリーンキャプチャ閲覧の有無を選択する機能

【3】座標動作モード

座標で動作させることができる機能

設定

再生設定

【1】

ディレイ時間

10

秒

【2】

再生ログ画面キャプチャー取得機能

切

再生ログ全削除機能

全て削除

【3】

座標動作モード

切

記録設定

末尾改行コード自動削除機能

切

連続コピー&ペースト機能

切

ダブルクリックコピー機能

切

マウス移動を記録

切

エクセル 準備設定

対象エクセル指定

参照

処理セル範囲指定

A1:Z256

準備設定の実行

実行

27

(2) 手順

①再生ボタンをクリックします。



※アプリ起動した直後は再生ボタンが無効になっています。
ストーリー一覧から再生したいストーリーを選択してから実施ください。

②再生速度を変更する場合は、再生速度ボタンのプルダウンをクリックします。



※再生速度
・ 0.5 倍速
・ 1.0 倍速
・ 2.0 倍速
・ ステップ = 動作ごとの再生

※0.5 倍速、1.0 倍速、2.0 倍速 の記述はあくまで速度のイメージです。
実際に X 倍になるわけではありません。また、処理対象のアプリによっては、
速度が速すぎると対応できず、エラーがおきることがあります。

③再生を止める場合は、停止ボタンをクリックします。



※再生中に停止したい場合は
停止ショートカットキー ⇒ **Ctrl + Alt + o (オー)** をクリックしても停止します。

※エラー発生時



再生時にエラーが発生した場合、再生ボタンの下部に
エラーメッセージが表示されます。
(再生が完了した場合にも、その旨のメッセージが出ます)

【Ver1.1】

本マニュアルの一部または全部を無断で複製、複写、転載することを禁じます。